取扱説明書
（14m・16mセット用）

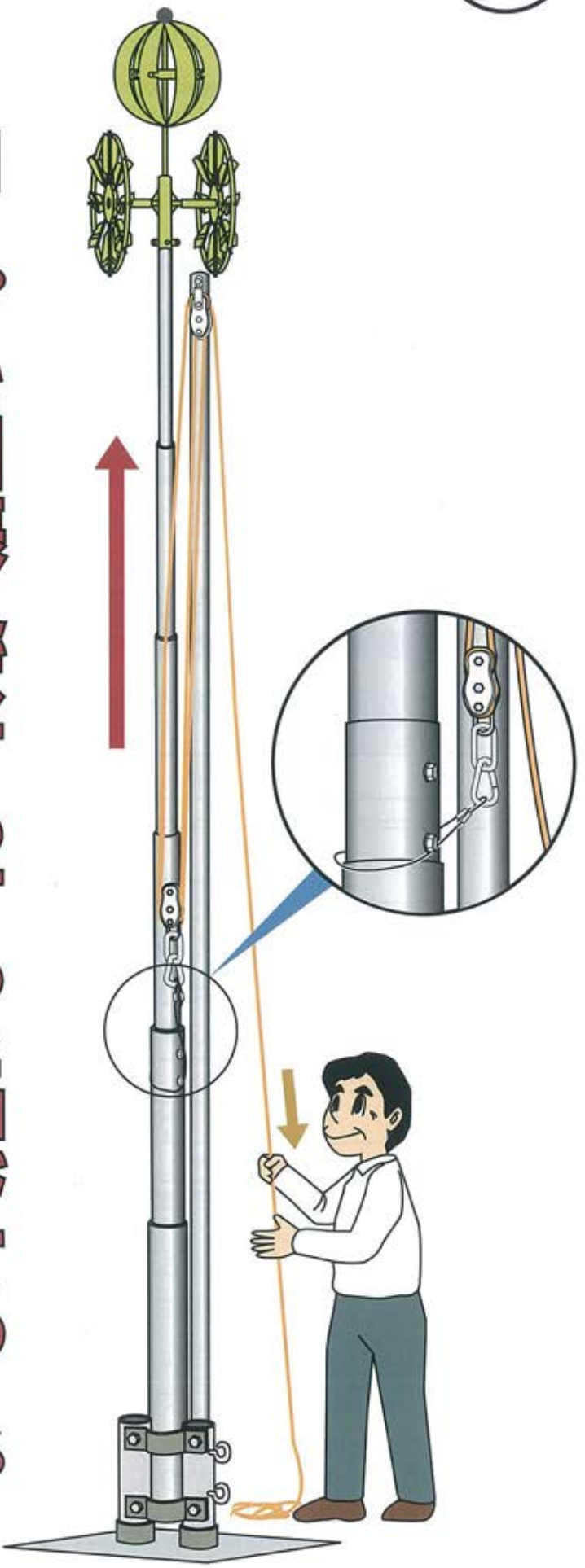
新考案

PAT.取得済

ニュースルスルポール

安全に16mポールでも2人で上げられます

ロープを引張ればするすると伸びてゆく。



このたびは当社製品「鯉のぼりポール」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みの上、正しい順序に従って組み立ててください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。

スルスル装置付き鯉のぼりポールの特徴

1. 安全　立てる時、倒す時の危険がありません。
2. 強度　杭を２本使用しますので、立てた後も抜群の強さを保ちます。
3. 労力　設置する時の所用人数は、大人（おとな）２人で充分にできます。
4. 修理　万一鯉のぼりがポールに絡んだ時でも、簡単に直せます。
5. 場所　狭い場所でも簡単に設置することができます。

安全上の注意

⚠ 危険

アルミ製ですので、電線に触れる恐れのある場所には、絶対に設置しないで下さい。（感電する恐れがあります。）

●鯉のぼりが泳いだ時、電線や植木、建物に触れないように充分気を付けて下さい

⚠ 警告

●強風時や雨天の場合、設置及び解体は行わないで下さい。
●乳幼児がそばにいる時は、設置及び解体は行わないで下さい。
●スコップ、金属板、ボルトナットなどを使用しますので、必ず手袋を着用して設置及び解体を行ってください。

⚠ 注意

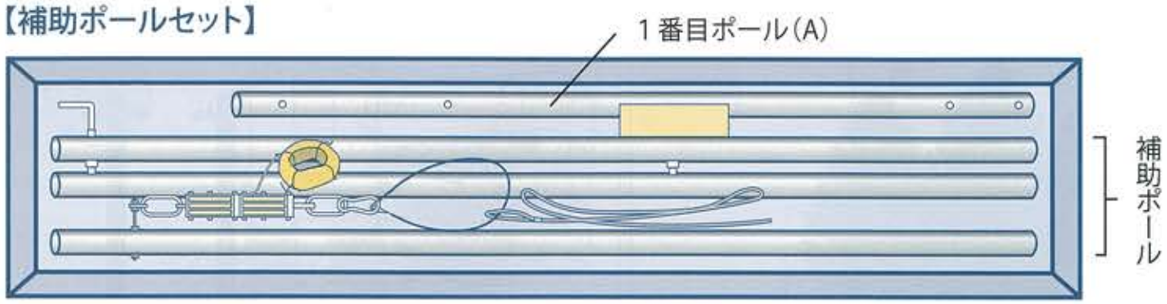
●本体ポールや補助ポールに強い衝撃を与えないで下さい。
●湿気のある所や潮風の当たる場所には保管しないで下さい。
●汚れの付いたまま保管しないでください
●ポールに取り付ける鯉のぼりや吹き流しの点数は６点以下で、その長さは最長のものでポール本体の長さの１／２以下にして下さい。
●矢車などはポールに適したものを選んで下さい。

セット内容と付属品の名前

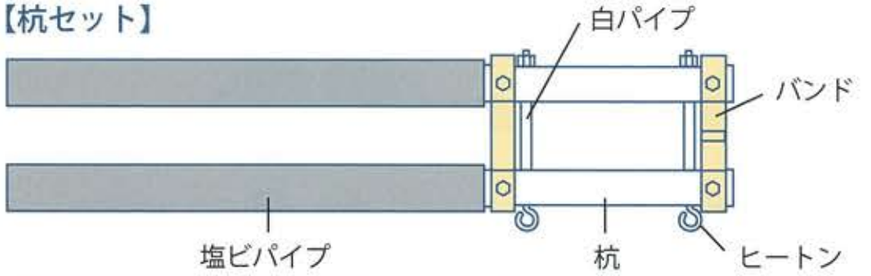
※セット内容は16mポールセットになります。

【本体ポール】

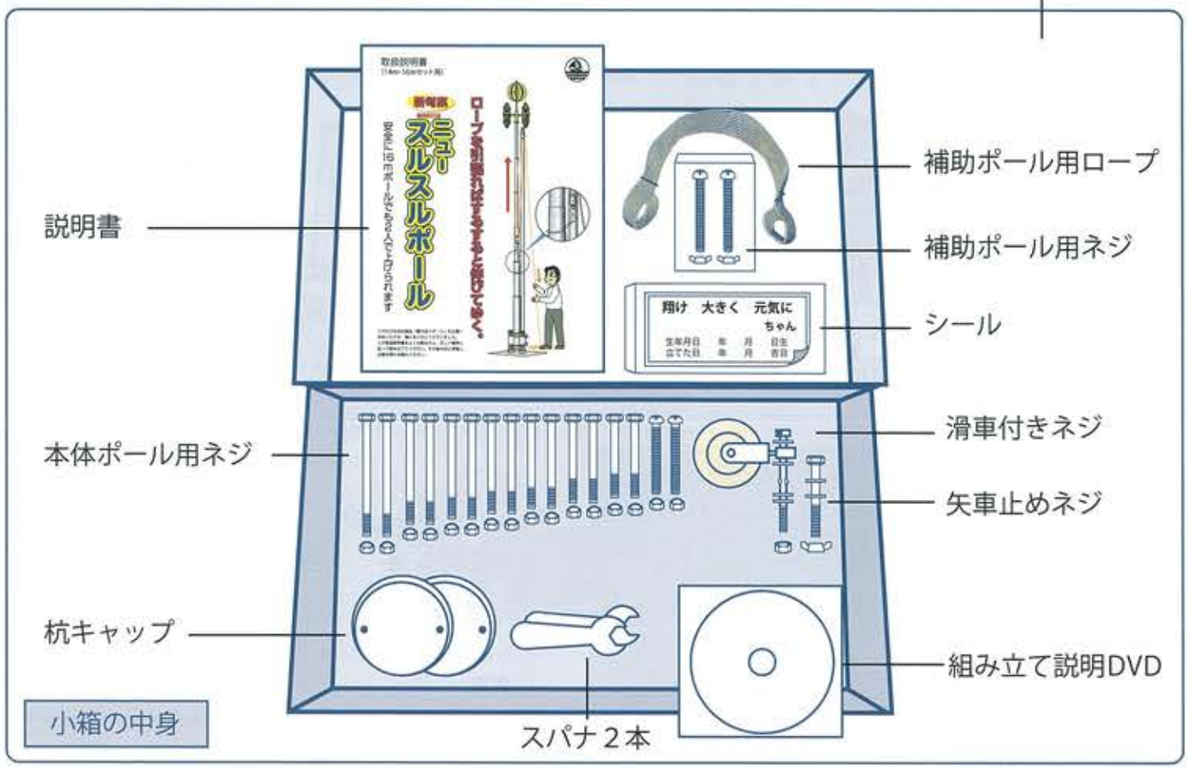
【補助ポールセット】



【杭セット】

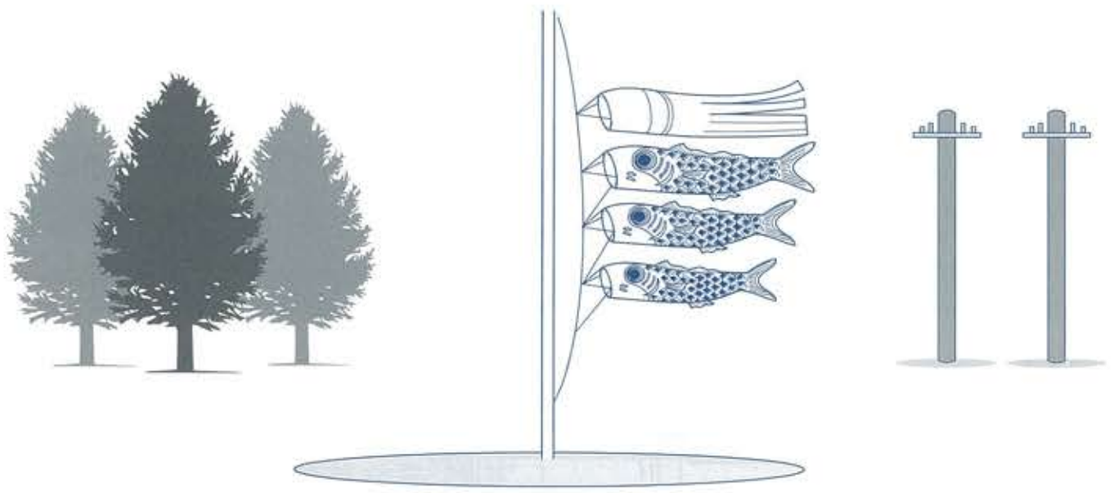


【小箱】



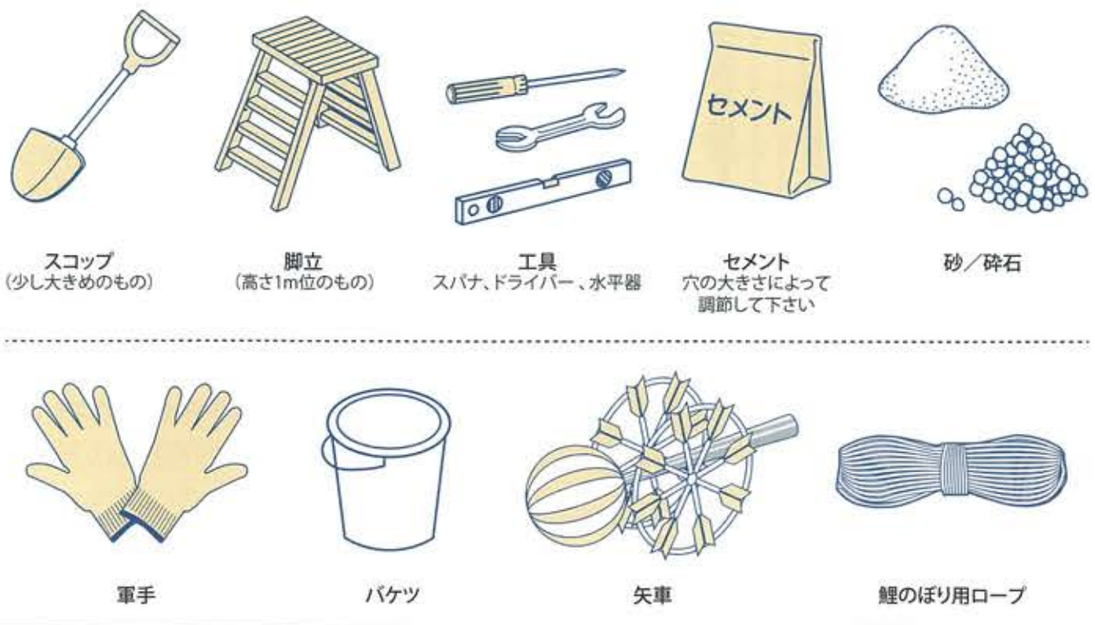
1. 設置場所を決める

鯉のぼりが空中に泳いだ時に、電線や植木、建物などに接触しない場所に立てます。



2. 組み立てに必要な道具

組み立てる時には次のようなものを用意して下さい。
※安全のため、作業は大人２人で行ってください。

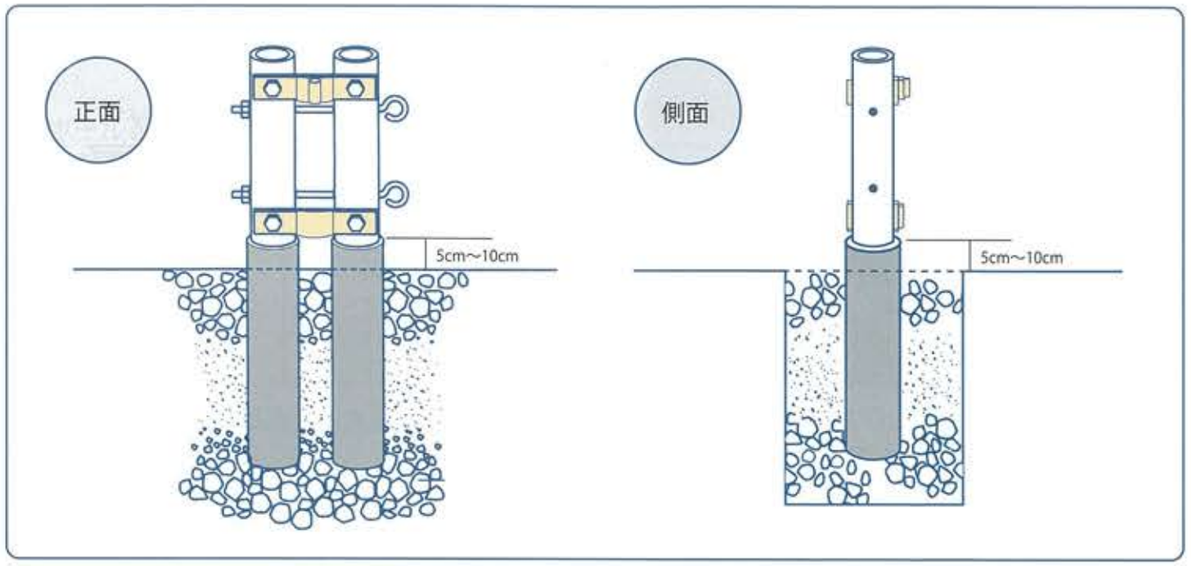


スコップ（少し大きめのもの）
脚立（高さ1m位のもの）
工具 スパナ、ドライバー、水平器
セメント 穴の大きさによって調節して下さい
砂／砕石
軍手
バケツ
矢車
鯉のぼり用ロープ

※矢車・鯉のぼり用ロープは本体に入っておりません。

1. 設置の準備（設置スペースの確保）

設置には十分な空間と、直径約 1.0m ～1.2m の穴が必要になります。



2. 基礎の作成

塩ビパイプが地上に約 5cm～10cm 出るように穴を掘ります。

穴を掘る

穴の深さはポールのサイズによって異なります。詳しくは表をご覧ください。

サイズ	穴の深さ	穴の直径
14m	約 0.85m	約 1.0m
16m	約 1.0m	約 1.2m

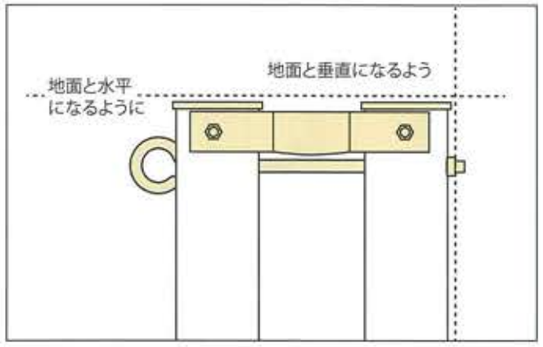
穴に砕石を敷く

掘った穴に砕石を入れます。

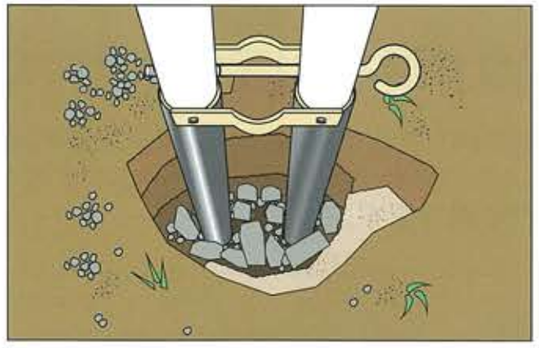
３.杭の設置

穴が完成したら杭セットを設置します。杭が地面と水平・垂直になるように設置してください。

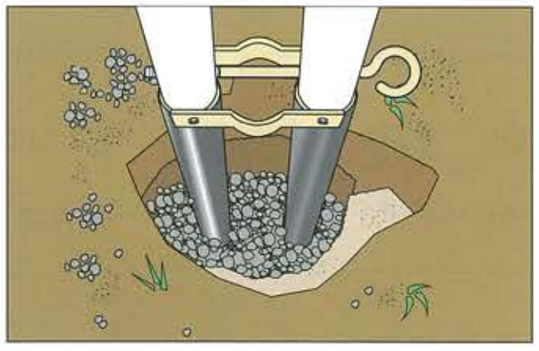
杭セットを穴に入れます。
（塩ビパイプが地上に約 5cm~10cm出るようにします。）



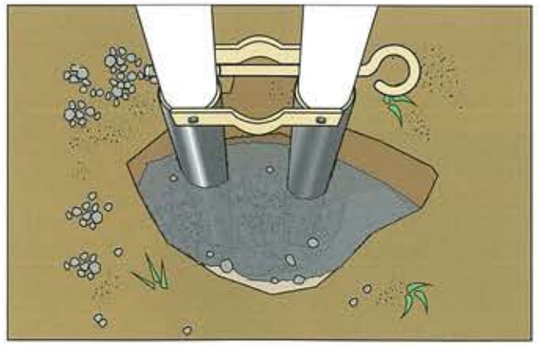
地面と水平・垂直になるように設置してください。



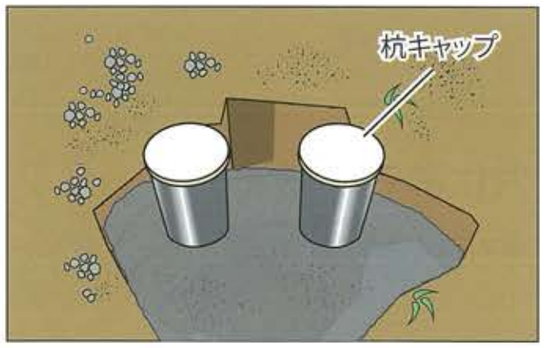
穴に大きな石を入れます。



穴に砕石を再度いれます。



コンクリートを流し込みます



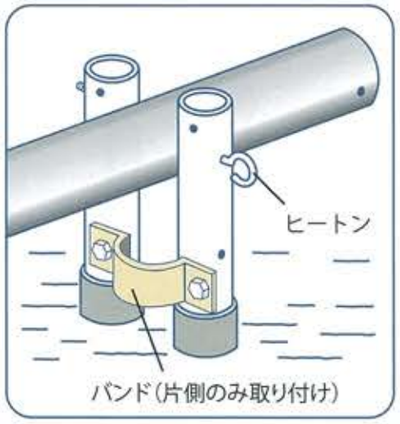
コンクリートを流し終えたら杭を引き抜きます。
雨やゴミが入らないよう杭キャップをかぶせます。

１.ポール最下部を杭に取り付けます。

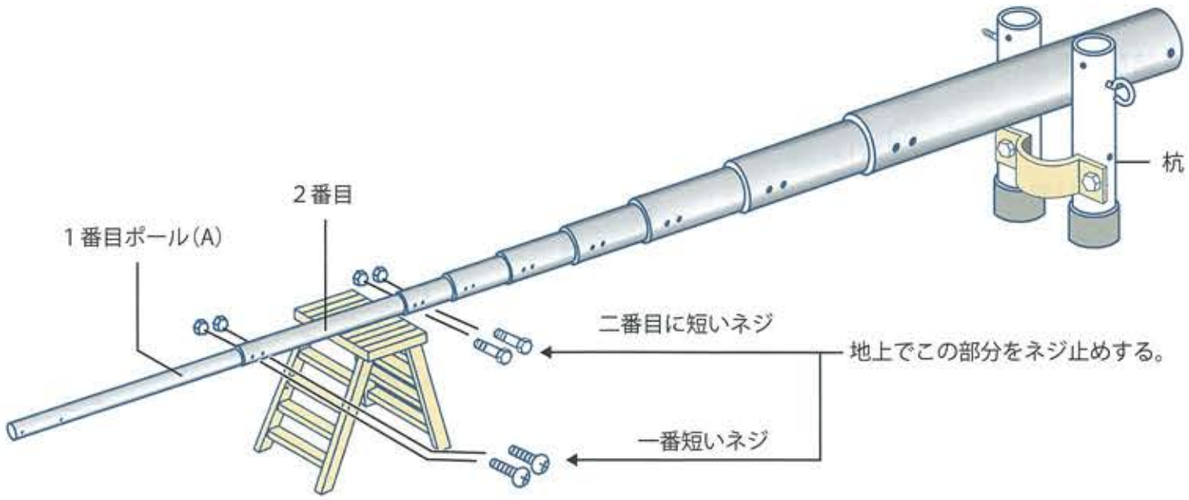
セメントが十分に乾き塩ビパイプが固定された後、下図の様にポール最下部をヒートンで杭の上側の穴に固定します。

●ポールを起こしやすいようにヒートンはゆる目に締めます。またポールが反対側に倒れるのを防ぐため、右図のようにバンドは片側のみ取り付けます。

●ヒートンに付いているパイプは杭の埋込み時のみに使います。



２.脚立を使用し、ポール１・２番目をポールセットから取り出して下図の通り適寸のネジで止めます。

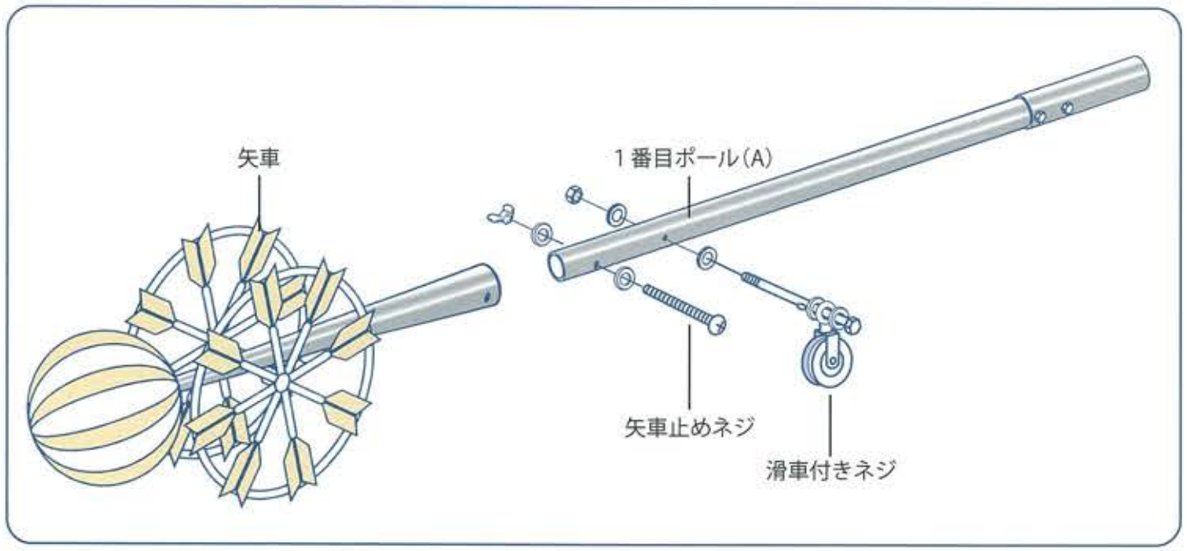


※１番目ポール（A）は２個の２に入っています。

地上での組み立て全長は、14mセットは７m、16mセットは８m（矢車部分も含む）

3. 滑車付きネジを取り付け矢車を固定

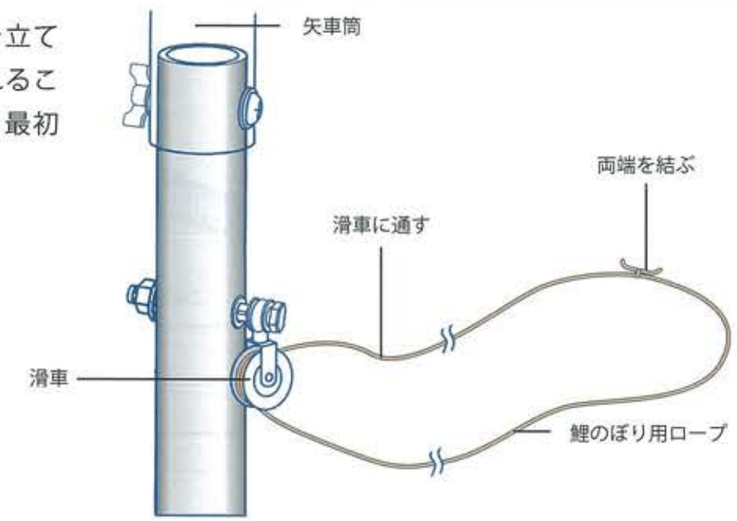
１番目ポール(A)に滑車付きネジを取り付け、矢車を差し込み、矢車止めネジで固定します。



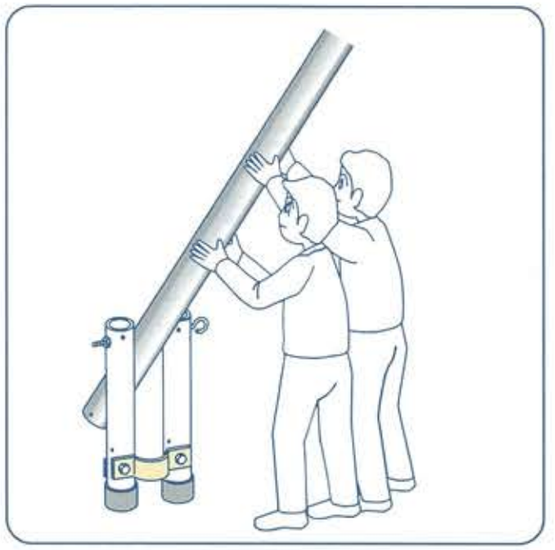
4. 鯉のぼり用ロープの取り付け

滑車に鯉のぼり用ロープを通し、必ず両端はしっかりと結びます。

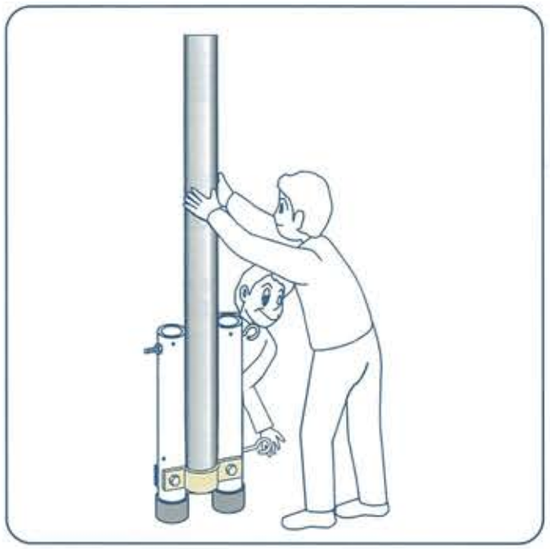
結び目が解けると、ポールを立てた時にロープが滑車から外れることがあります。その場合は、最初からやり直して下さい。



1. ポールを起こす



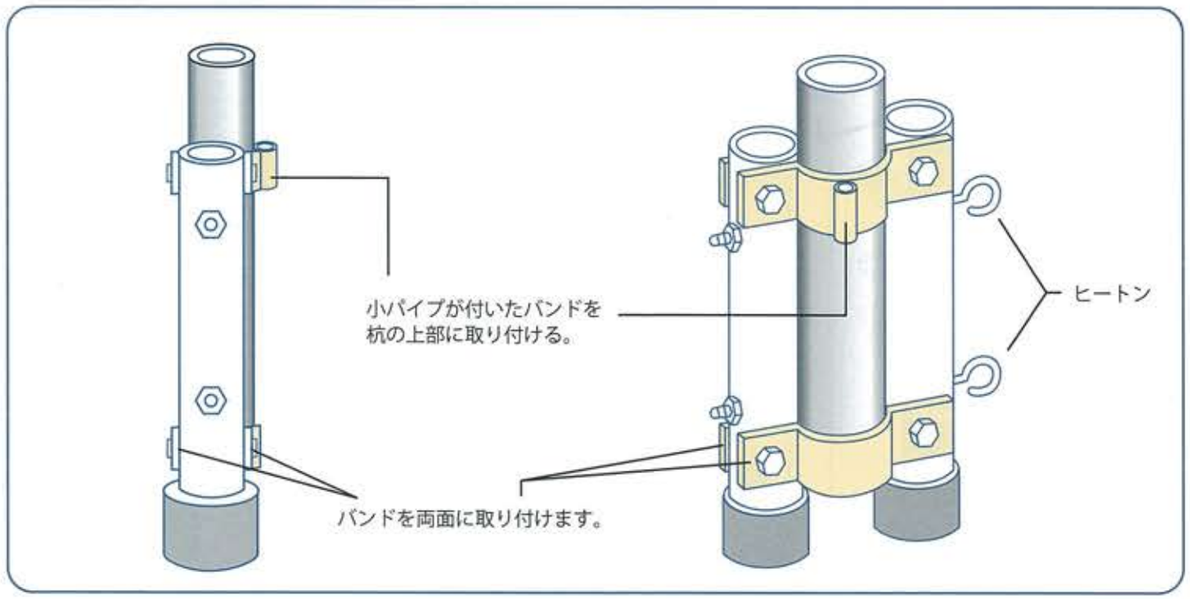
２人で慎重にポールを起こします。



１人がポールを支え、他の人がポール最下部にヒートンで２カ所をしっかりと固定します。

2. バンドを杭に取り付ける

残り３枚のバンドを杭に取り付けます。小パイプが付いたバンドは、杭の上部に取り付けてください。

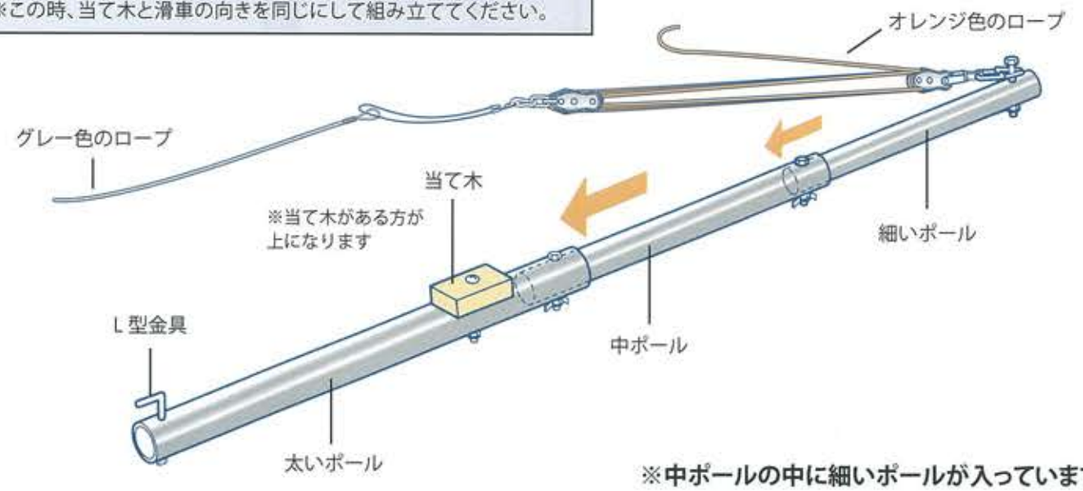


スルスル装置の設置

1. スルスル装置（補助ポール）を設置する

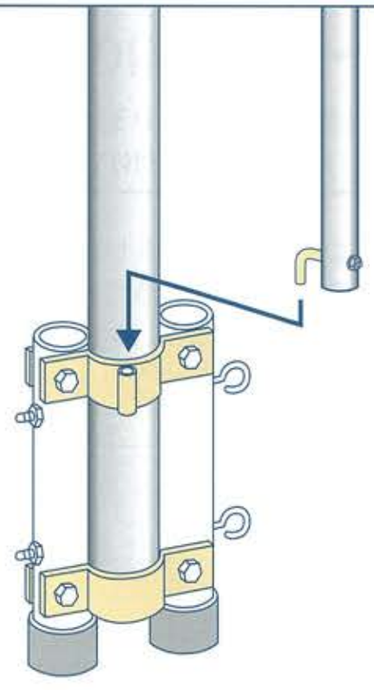
太さの異なる３本のポールを下図のように組み立てます。

※この時、当て木と滑車の向きを同じにして組み立ててください。

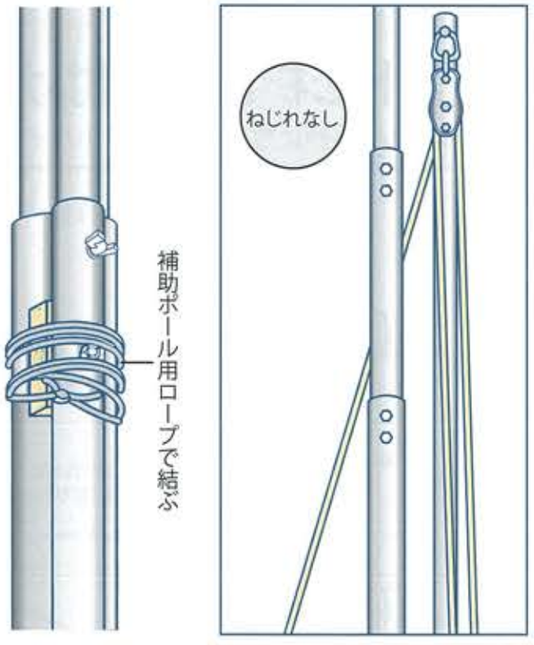


※中ポールの中に細いポールが入っています。

2. スルスル装置を取り付ける

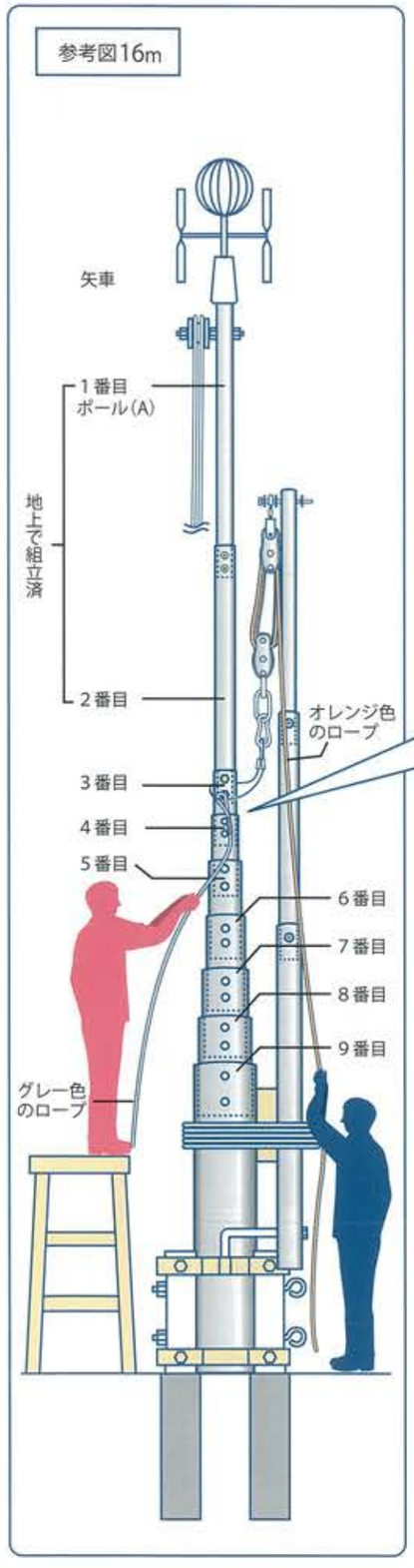


杭に取り付けたバンドの小パイプに
L字型金具を差し込みます。



付属の補助ポール用ロープで補助ポールと本体ポールをしっかりと結びます。この時、オレンジ色のロープにねじれのないよう設置してください。

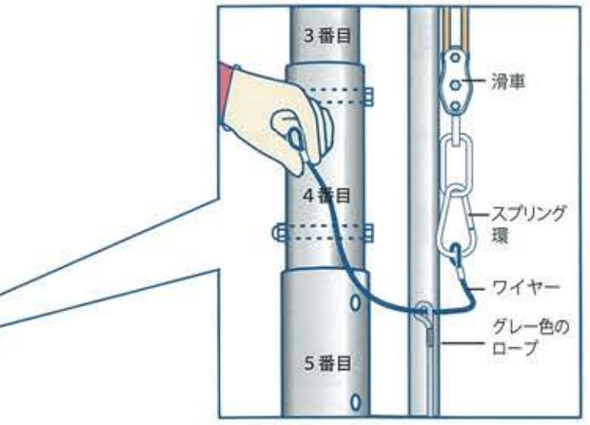
ポールの伸ばし方 その１



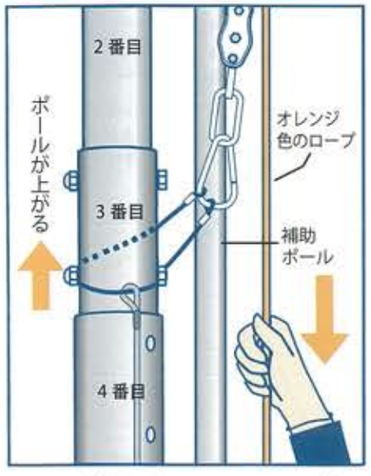
1. 細いポールから順番に伸ばす（上から３番目のポールを伸ばす）

ここからの作業は、必ず軍手をご着用ください。

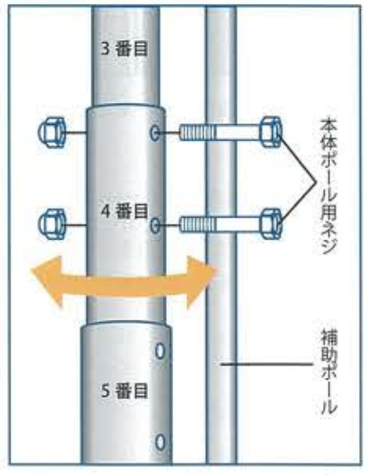
ポールを伸ばします（スルスル装置を使います）スルスル装置は、補助ポールの滑車を利用して、上からポールを１本ずつ吊り上げる方法です。



スプリング環からワイヤーの片方を外し、
ポールに巻きつけてネジにひっかけます。



スルスル装置に付いているオレンジ色のロープを引っ張ると３番目のポールが上がります。

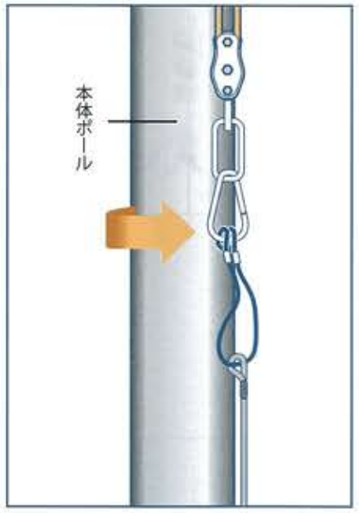


３番目のポールのネジ穴と４番目のポールのネジ穴を合わせ２カ所をネジで固定します。

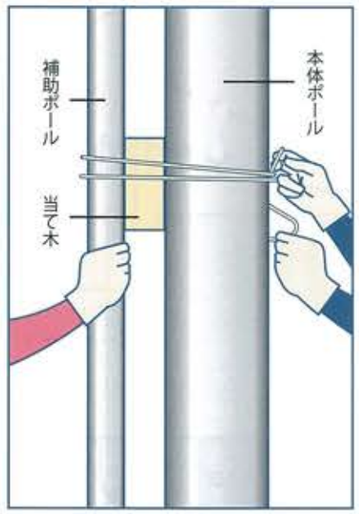
ポールの伸ばし方 その2

2.ワイヤーを次のボルトにひっかけ、同じ手順をすべてのポールを伸ばし終えるまで繰り返し行ってください。14Mは5回、16Mは6回繰り返す必要があります。

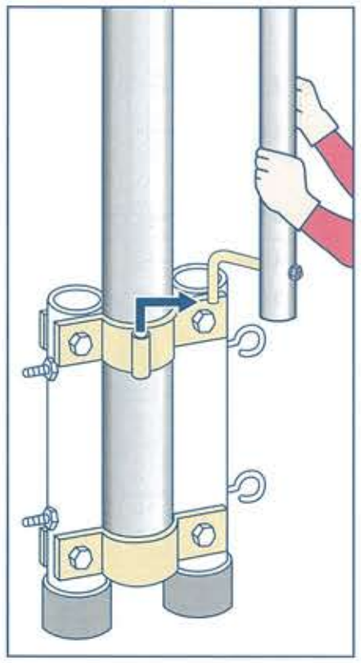
3.すべてのポールを伸ばし終えたら、スルスル装置を取り外します。



本体ポールからワイヤーをとりはずします。

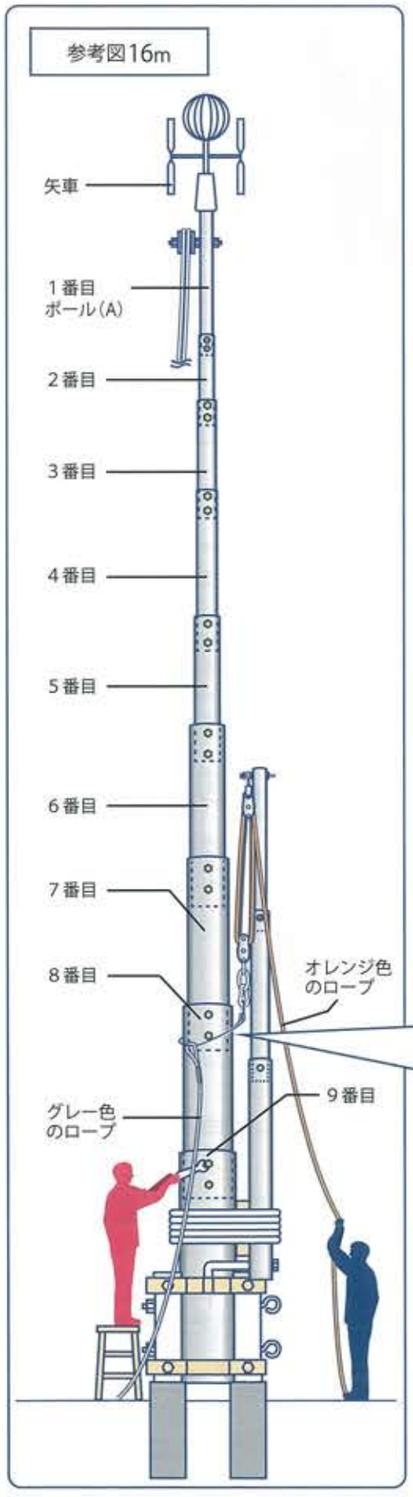


補助ポールと本体ポールを結んでいる補助ポール用ロープをほどきます。ひとりが補助ポールを支えてください。



杭に取り付けたバンドの小パイプからL字型金具を取り外します。

ポールの降ろし方 1

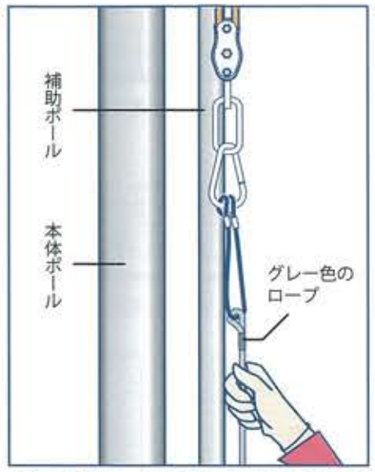


1.スルスル装置(補助ポール)を組み立て、本体ポールに取り付ける。

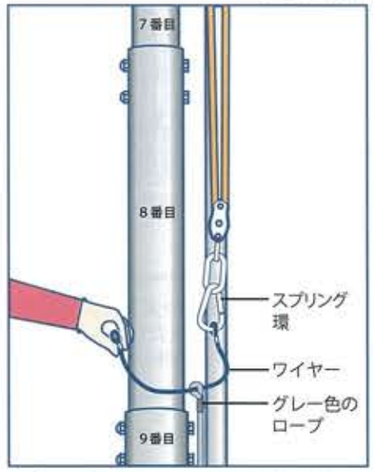
※P.10 を参照して下さい

2.太いポールから順に本体ポールを降ろしていきます。

参考図16m

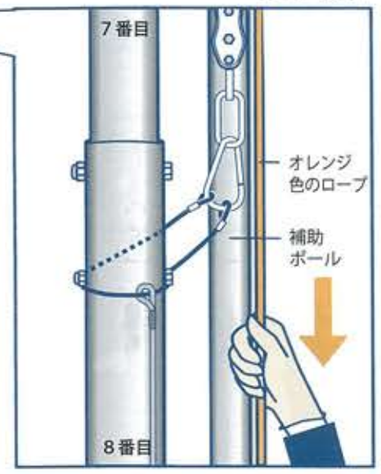


グレー色のロープを引っ張り、ワイヤーを引き降ろします。



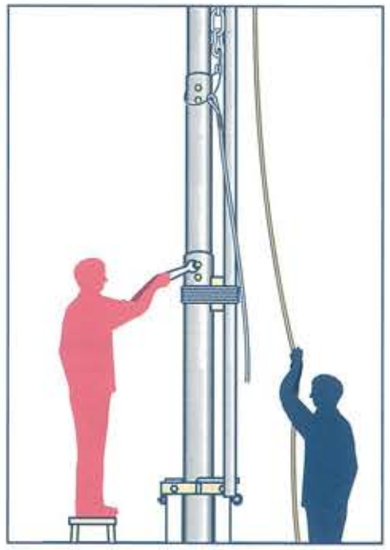
スプリング環からワイヤーの片方を外し8番目のポールに巻きつけます。
(14Mの場合は7番目のポールのネジにひっかけます。)

参考図16m

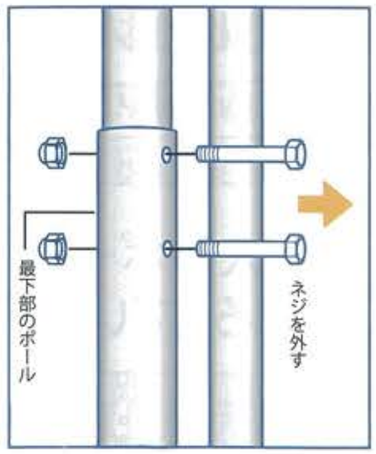


オレンジ色のロープを引き上げ、ワイヤーがネジにひっかかった事を確認し、8番目のポールを吊り上げます。
(14Mの場合は7番目のポール吊り上げます。)

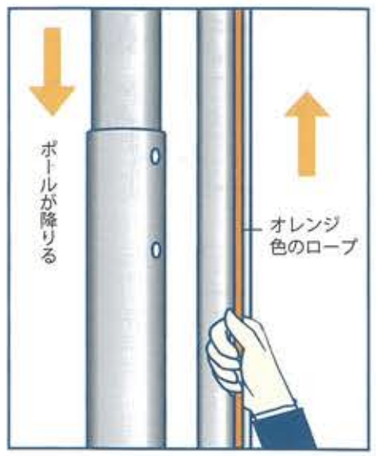
ポールの降ろし方 2



ポールを吊り上げた状態で、オレンジ色のロープを保持します。

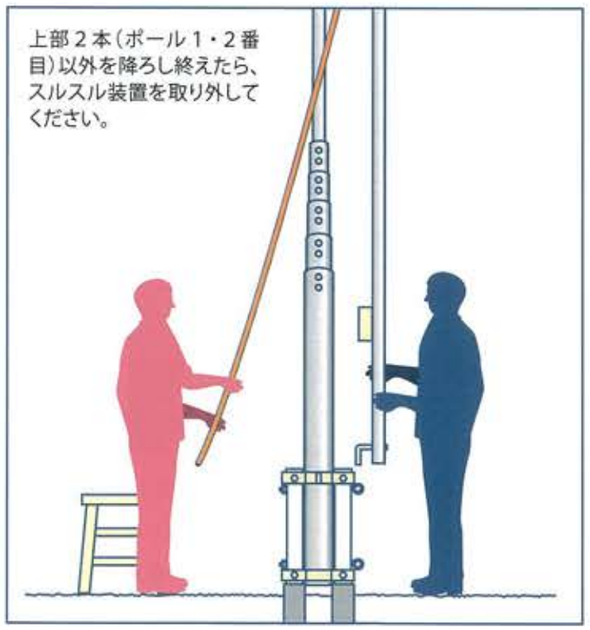


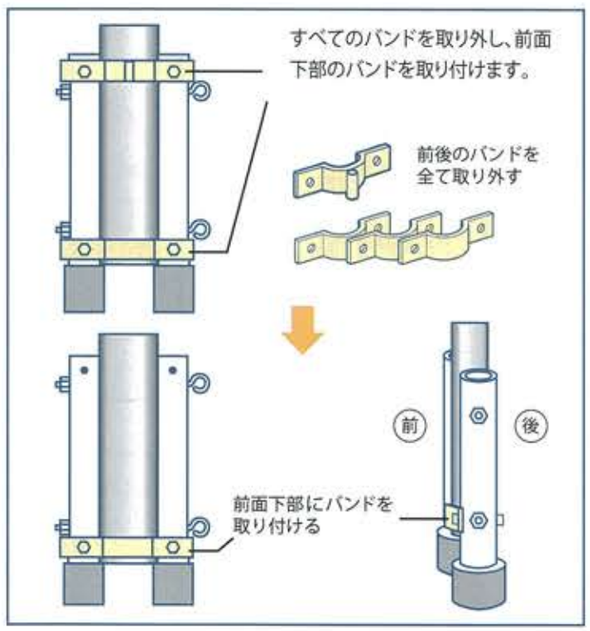
ネジに負荷がかかっていない状態で、ネジを外します。

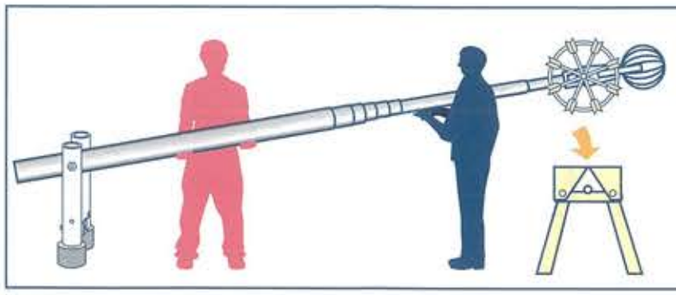


オレンジ色のロープを持つ手を緩めてください。ポールが降りてきます。

再度ワイヤーをネジにひっかけ、同じ作業を繰り返し行います。



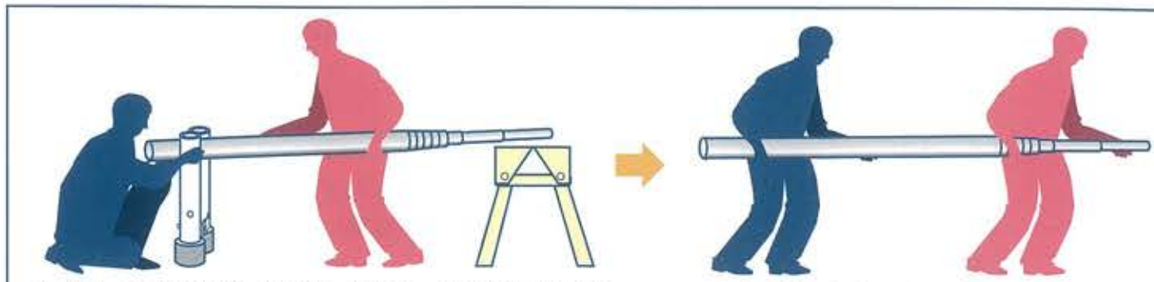




１人がポールを支えた状態で、下部のヒートンを取り外します。脚立を使用して、２人で慎重にポールを倒してください。

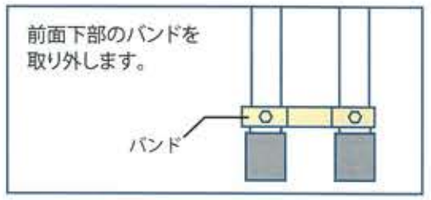
ネジを外し終えたら、細いポールを太いポールに差し込みます。

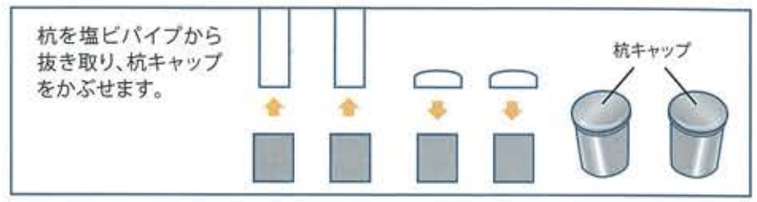
ポールの降ろし方 3　お手入れ・保管方法



１人がポール本体を保持した状態で、上部のヒートンを取り外します。

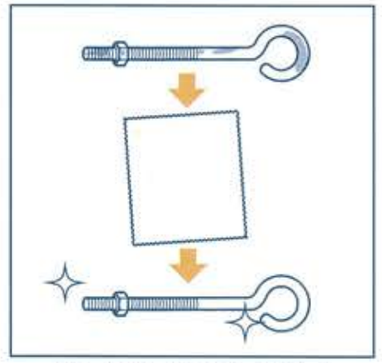
２人でポールを杭セットから離してください。



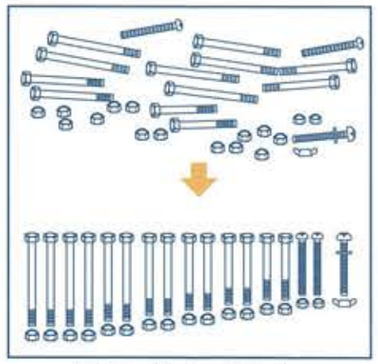


お手入れ方法

ご使用後は取り外した小さなネジ類をはじめ、他の部品類の汚れをよく落とし、乾いた布などで拭いて大切に保管して下さい。

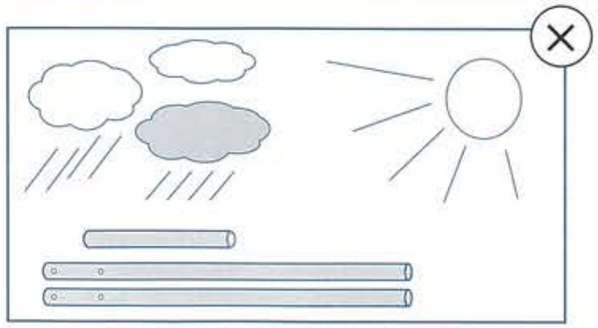


乾いた布などで汚れを落とす

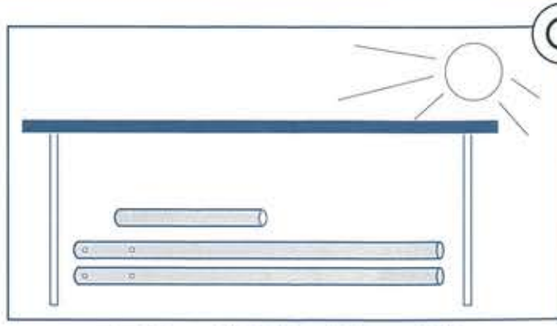


部品はまとめて保管する

保管方法



直射日光の当たる場所での保管はさける

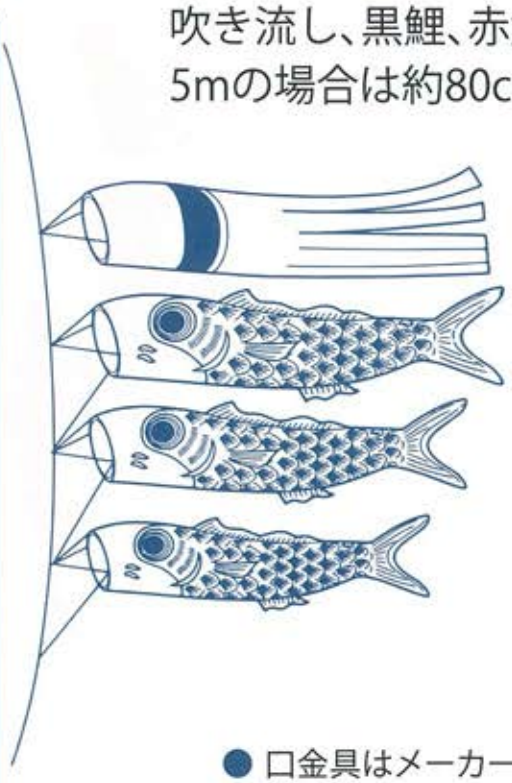


雨風をしのげる屋内で保管してください

付録

鯉のぼりの取り付け方

吹き流し、黒鯉、赤鯉、青鯉の間隔は、大きさにより異なりますが、5mの場合は約80cmの間隔が目安です。



万一、電線に触れた場合や鯉のぼり・吹流しが絡まった場合には、ポールや鯉のぼり・吹流し等には絶対に触れず、直ちに電力会社に通報して協力を得てください。

- 口金具はメーカーにより、多少異なります。それぞれ正しい取り付け方が記載されていますので、その方法に従ってください。
- 鯉のぼりが矢車やポールに絡んで元に戻せないときは、ご面倒でも補助ポールを取り付けてポールを一度おろしてください。安全のため必ず２人で作業してください。
- 風力５以上の場合は、安全のため鯉のぼりや吹流しは降ろしてください。

風　力	3	4	5	6
風　速	3.4～5.4	5.5～7.9	8.0～10.7	10.8～13.8
状　態	木の葉や枝が動く	紙くずが舞い、水面に波が少し立つ	小さな木の幹がゆれる	大きな木がゆれる 電線が鳴る時もある

動画での組み立て説明も行っております。
YOUTUBE内検索で以下のワードをご検索の上、ご覧ください。

スルスルポール　組立方法　検索

お問い合わせ先

木製塗り台・屏風・雛壇・矢車・ポール　その他節句付属品製造

株式会社　中須

〒557-0063　大阪市西成区南津守5-1-32
TEL.06(6656)0200(代)　FAX.06(6656)0300